



8月園だより

第 632 号

成田保育園



今月の徳目

じ り り た

自利 利他

自分でできることは最後までやり通す辛抱強い心と、他の人が困っているときは、その人の気持ちになって助けてあげる、親切な心を持つようにしましょう。

(徳目解説：日本仏教保育協会)

～子ども自身が幸せを感じられる園生活とは～

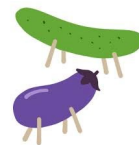
自分の力で行いたい事(目標)を自分で(達成)できるようになり、それが少しずつ増えていくことは大きな自信と喜びになります。また、自分のことだけでなく友だちを助け、お互いが助け合い協力する大切さを学ぶことも幼児期の成長に必要なことです。協力は大きな結果を得ることができ喜び(幸せ)を共有できます。喜びを共有する友だちは時に悲しみを分かち合える関係にもなります。人と支え合うことは、お釈迦さまの慈悲の心につながります。

昨今、人間関係の構築を苦手とする若い方がふえているといわれています。今月の徳目の漢字だけを見ると難しく思えますが、乳幼児期から自信と喜びを共有できる人間関係はとても大切なものです。



● 今月の主な行事・お知らせ

- ・ 5日(金) みたままつり盆踊り会(日中開催)
- ・ 8日(月) 生命尊重の日
- ・ 13日(土) 希望保育(弁当持参) 8:30～12:00
- ・ 15日(月) 希望保育(弁当持参) 8:30～17:00
- ・ 24日(水) 地藏盆(門前にてお勤め)
- ・ 25日(木) 8月お誕生日会
- ・ 26日(金) 夕涼み会
- ・ 30日(火) かけっこ教室
- ・ 31日(水) 水遊びじまい(スイカ割り)



● 26日(金) 夕涼み会について

コロナ第7波禍中にあることから、親子参加による夕方からの開催は控えさせていただき、午前中にお楽しみ会(園児のみ)、降園時に「親子で立ち寄りブース」を計画いたします。

● お盆 生命(いのち)のつながり

天地の生命のはたらきの中にあるのが私のいのち。その生命は、先祖のいのちのつながり。今こうして生きている真実のいのちの姿こそ、ほとけさま。そこに感謝報恩を示し得るのが、人なのでしょう。幼子に伝えるのも、人なり。